

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年6月22日(2017.6.22)

【公開番号】特開2016-137360(P2016-137360A)

【公開日】平成28年8月4日(2016.8.4)

【年通号数】公開・登録公報2016-046

【出願番号】特願2016-95560(P2016-95560)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月8日(2017.5.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動条件の成立により遊技者に有利な特別遊技を実行するか否かの判定を行う判定手段と、

前記判定の結果に基づいて、所定の演出手段において演出を実行する演出実行手段と、を備え、

前記演出実行手段は、

演出図柄を変動させてから停止させる変動演出を実行する変動演出実行手段と、

前記変動演出が実行されているときに、所定のアイテムを貯留させる貯留演出を実行するとともに、前記貯留演出において、前記アイテムを所定数まで貯留させるとときと、前記所定数まで貯留させないとときと、がある貯留演出実行手段と、

前記貯留演出が実行された後に、前記特別遊技が実行される可能性が高いことを示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、を有し、

前記変動演出実行手段は、前記変動演出において、所定のタイミングで、変動させている前記演出図柄を前記貯留演出が実行されることを示唆する特殊態様で仮停止させてから再変動させるとときと、変動させている前記演出図柄を前記特殊態様とは異なる通常態様で仮停止させてから再変動させるとときと、があり、

前記貯留演出実行手段は、前記演出図柄が前記特殊態様で仮停止されることに応じて前記貯留演出を実行するときと、前記演出図柄が再変動させているときに前記貯留演出を実行するときと、があり、

前記示唆演出実行手段は、前記貯留演出において、前記アイテムが前記所定数まで貯留された場合、前記アイテムが前記所定数まで貯留されなかった場合よりも高確率で前記示唆演出を実行することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の遊技機(1)は、始動条件の成立により遊技者に有利な特別遊技を実行するか

否かの判定を行う判定手段（301a）と、前記判定の結果に基づいて、所定の演出手段（121）において演出を実行する演出実行手段（320a）と、を備え、前記演出実行手段は、演出図柄を変動させてから停止させる変動演出を実行する変動演出実行手段（320a）と、前記変動演出が実行されているときに、所定のアイテムを貯留させる貯留演出を実行するとともに、前記貯留演出において、前記アイテムを所定数まで貯留させるとときと、前記所定数まで貯留させないとときと、がある貯留演出実行手段（320a）と、前記貯留演出が実行された後に、前記特別遊技が実行される可能性が高いことを示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段（320a）と、を有し、前記変動演出実行手段は、前記変動演出において、所定のタイミングで、変動させている前記演出図柄を前記貯留演出が実行されることを示唆する特殊態様で仮停止させてから再変動させるとときと、変動させている前記演出図柄を前記特殊態様とは異なる通常態様で仮停止させてから再変動させるとときと、があり、前記貯留演出実行手段は、前記演出図柄が前記特殊態様で仮停止されることに応じて前記貯留演出を実行するとときと、前記演出図柄が再変動されているときに前記貯留演出を実行するとときと、があり、前記示唆演出実行手段は、前記貯留演出において、前記アイテムが前記所定数まで貯留された場合、前記アイテムが前記所定数まで貯留されなかった場合よりも高確率で前記示唆演出を実行することを特徴とする。